

# 令和7年度 学校評価(自己評価)

学校法人 耕心学園  
 幼保連携型認定こども園  
 伊万里幼稚園

## 1. 本園の教育目標

ひとりひとりの伸びる力を大切に、幼児の主体的な活動を通し、基本的な生活習慣を身につけながら、「体の力」「学ぶ力」「心の力」「生きる力」が身につくように毎日の園生活を充実させることを目標にしている。ヨコミネ式導入。	
体の力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走る、柔軟を通して競争心を育て、全力で取り組む姿勢、向上心、体力を培う。</li> <li>・日常生活にない運動（複雑で少し難しい運動）を行う。</li> </ul>
学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「理解力(読解力)」「思考力」「洞察力」をつけるために「読み」「書き」「計算」を行い、基礎学力を身に付ける。</li> </ul>
心の力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分で考えて行動」「あきらめない」「いやなことから逃げない」「挑戦する」「思いやりの心」「友だちを大切にする」など。</li> </ul>
生きる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での経験を通して学び、自立した人に育てること。</li> </ul>

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標

①教育に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の保育理念を理解し、日々の保育実践に生かしている。</li> <li>・縦のつながりを意識して、0歳児から5歳児までトータルした教育を行う。</li> </ul>	B
②安全に関して (危機管理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全計画」「保健計画」「避難訓練計画」等に基づき、日々の生活の中で意識して行い、安全管理を徹底する。</li> </ul>	B
③環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢児の関わりができるような環境構成をする。</li> <li>・異年齢児の交流ができる(場)をつくり、互いに刺激になる活動を入れる。</li> </ul>	B
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じて、カリキュラム(製作や園外保育・幼少連絡等)を計画し、子どもの育ちに反映させている。</li> </ul>	B
④地域・社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然や主な施設の場所・交通機関・行事などについて理解し、利用するように努める。</li> </ul>	B

## 3. ヨコミネ式に関して (東園舎職員のみ)

①学習について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの進度に合わせ、興味とやる気を引き出す。</li> </ul>	B	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりに合った教材を準備し、やる気スイッチを探す。</li> <li>・配慮を要する園児の個別支援を工夫する。</li> </ul>	B	
	読 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階や個に応じた教材(絵本等)を準備する。</li> </ul>	B
	書 き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の持ち方、書く時の姿勢をしっかりと身につけさせる。</li> <li>・子どもの筆圧に合わせ、鉛筆6B～2Bの調節をする。</li> </ul>	B
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に書く事や書き順に気をつけさせ、褒めながら書く事が好きになれるよう配慮する。</li> </ul>	B
計 算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じて次の段階に進む。</li> </ul>	A	

②体操について	・ 3歳児から5歳児まで、総合的に考え、基礎からしっかり身につけさせる。	B
	・ 挑戦する気持ちを大切に、何とか最後まであきらめないうで頑張ろうとする気持ちを育むように支援する。	B
	・ 次の段階へ意欲を持って取り組めるように支援する。	B

#### 4. 保護者との連携

①園生活について	・ 子どもたちの様子を保護者に見てもらう機会をつくり、成長を感じてもらう。	A
	・ 特に知らせたいこと（子どもの成長に関する）等は、こまめに知らせていく。	A
②家庭での様子を知る	・ キッズビューや連絡帳で園児の様子・状況を把握する。	A
	・ 子どもの送迎時に子どもの様子を話したり電話等で連絡したりして連携を密にする。	A

#### 5. 職員の保育の質の向上

① よりよい保育の為に	・ 研修に参加したり職員間で意見交換をしたりして、自己研鑽に励み保育の質の向上を目指している。	B
	・ 職員がチームとなり、情報をしっかりと共有する。	B
	・ 体操については、怪我のないやり方等職員間で園児の状況を共有し、それぞれに合ったやり方を確認しあう。	B
	・ 子どもたちが活動に飽きることなく、取り組める環境づくりを目指している。	B

#### 【 評価 】

A … 達成 B … ほぼ達成 C … ややできていない D … できていない